

さらなる中部圏発展に向けた 名古屋の魅力向上

－名古屋スーパーマグネット構想－

(一社) 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)

中部委員会委員長 鍋田 和宏

専務理事・事務局長 丸川 裕之

リニア中央新幹線開業によって、中部圏の2時間圏域内の人口が約6,000万人になると言われている。スーパーメガリージョン形成によって中部地区の重要性がさらに高まる。

全国的に人口減少が進む一方、働き手や働き方は多様化し、従来のライフスタイルにとらわれない形で人材は流動化している。また、地域の持続的発展のためには、その原動力となる活力溢れる多様な人材を惹きつける都市の存在がますます重要となる。

(一社) 日本プロジェクト産業協議会中部委員会は、中部圏においては、スーパーメガリージョン形成を見据え、東京圏や大阪圏に人が吸い取られることなく、その位置づけを高めるためにも、中心都市である名古屋の魅力を高めることが不可欠であるとの結論を得た。

当会は、かかる認識のもと、次の三点について提言いたします。

提言1

美しく豊かな南北軸の形成 Nagoya Super AXIS

- ・中部国際空港から名古屋城に至る歴史ある南北軸を意識し、まちづくりを展開する。

1-① 本町通りを軸としたウォークアブルな縦軸を形成する。

1-② 中川運河を再生し、海から都市中心部に至る水運の縦軸を形成する。

提言2

新たな公共交通ネットワークの充実とモビリティハブの設置

- ・来街者にとってもわかりやすい公共交通ネットワークを形成する。

- ・SRT・グリーンスローモビリティ等との乗換えがしやすく、地域交流の拠点となる空間を整備する。

提言3

既存の地下空間と地上を繋ぐ、開放感と連続性のある空間の形成

- ・地下街と地上との接続部のリノベーションにより、豊かで開放的な空間を演出し、まちへと出かけたくなるような連続性のある空間をつくる。

以上